

1. 一年を振り返って (会長 今井 和男 記)

会員の皆様のご協力、ご努力により、会の活動は順調に運営されていますことに、深く敬意を表します。この一年を振り返って見るに、特に、視察、見学等が数多く、これらの対応に多少なり十分でなかった面も考えられますが、会員のご協力で、まずまずの活動が出来ました。なかでも、国会議員(文部科学委員18名)並びに山口県会議員(厚生委員15名)の視察が実施されましたことは、会の活動が全国板となっていることと存じます。また、環境大臣表彰(4月29日みどりの日)の受賞がありました。この受賞は、山口県はもちろん全国へ大きくアピールしたもので、大変喜ばしいことと存じます。組織作りでは、5月に会則の改正を実施し、事務局の自主運営の体制を確立いたしました。事務局長が積極的に取り組んでおります。会員のご協力を、さらに、よろしくお願いいたします。

2.. 活動報告(事務局 記)

10月25日(金)全国湖沼水質保全の会が見学。

10月27日(日)一園会(宇部地区一級造園施工管理士の会)にて“里山ビオトープ二俣瀬”の講演(講師 西原一誠会員)

11月2日(土)稲コギとそばこぎ(刈り取り手でこぐ)をしました 25人参加されました。

11月7日(木)山大工学部第一ゼミ室にてビデオ委員会が久々に行われました。ついに、完成?なのですが、またまた製作会議に発展・・・。

11月9日(土)近郷高校生の草刈ボランティア活動がありましたので紹介いたします。参加高校 宇部商業高校、厚狭高校、宇部西高校で、参加者は高校生の男性7名と女性9名、先生方4名ほか、林 弘之会員、藤村会員、田村会員、原田満洲夫会員の合計24名で作業、場所は須賀河内川全域の葎刈り取りと湿地帯のセイタカアワダチソウと稗等の引き抜きと外周の水路整備。

11月17日 紹介まで 二俣瀬校区文化祭 於二俣瀬市民センター、小学校

11月21日 恩田校区成人学級 40名さま見学 田村会員と原田でご案内しました。

11月22日(金)グローバル500フォーラムinうべにて“里山ビオトープ二俣瀬”の講演(講師 西原一誠会員)

11月23日 もち米精そば粉挽き完了 臨時集会。年末行事についての会議

12月6日7日 収穫祭Part-1餅つき大会準備および本番

田植、稲刈りのビック行事のほか数々の管理作業の集大成として2表半のもち米を50臼にて会員他、子供会、地区婦人合計85名の参加を得て実施しました。

12月15日 収穫祭part-2蕎麦試食会、忘年会および「ビデオによるビオトープとは講習会」参加者 39名
今年初めてビオトープの隣の休耕田を利用して蕎麦を植え試食が出来ました。

3. 今後の予定(事務局 記)

見学者

未定 未明 柳井川、田布施川協議会ご一行約20名御見学予定

未定 下松市 農業委員会

未定 防府中の関ご一行

未定 福岡市 農業委員会

行事

12月23日 レンコン堀

1月 19日 山口の川の歴史・文化遺産を探访する会の見学。自然保護協会末村さんご一行見学

2月 2日 市民活動センターへビオトープ活動報告(パネル掲示のみ)2月1日夕方準備

4. ビオトープ関連 (ビオトープで観察される動植物)(車地 藤村 武昭 記)

ビオトープに植栽されている蘭科植物〔1〕

サギ草

盛夏に涼を呼ぶ日本のランである。花は空を飛ぶ「サギ」に実に良く似ている。全国的に分布しているようであるが、現在では乱獲と土地開発によって自生地も極限されつつある。日当たりの良い湿地に自生しているが(ビオトープの周辺の山でも見られる)栽培は容易なようでもなかなか難しい。ビオトープで植栽されているサギ草は主に北村会員の増殖されたものである。

やはり野におけレンゲ草“

ビオトープ内に植栽されているサギ草もきれいですが周辺の自生のサギ草は乱獲で絶えることの無い様われわれが監視していかなければなりません。したがって自生地を詳細に教えることは会員といえどもできませんのであしからず。

5. ビオトープ関連 (連載ビオトープ近辺の案内)

“珍説フタマタセ その四、こうだかしょう”

(車地 吉富 壮介 記)

「子を抱かしょう」と書く。この子を抱いてくれの意。場所は木田。木田橋から郷へ通じる道、今は川土手も整備され、堤防の上は立派な道路になっている。日中はともかく、夜も二号線を通るクルマのライトで、明るく賑やかなところ。でも昭和初期、正しくは終戦後までは低い、細くて暗い道だった。夜、家路を急ぐ男がいた。ふと立ち止まる。闇の中、誰か立っている。「あのう...」女の細い声が寄って来た。暗うて誰かわからん。「すみません、ちょっとこの子を...」と差し出し、有無をいわず預けていく。可愛い赤子(あかご)が静かに眠っている。「ああ、わしは、ちょっと、困るが...」断ろうにも女は闇に消えていった。「すぐ帰ってきます」と言い残して...。暗い中、赤子を抱いて、行きもならず帰りもならず、10分...20分...女は戻って来ない。ほんの赤子と思っただが、その子の重いこと重いこと、その俚一時間...二時間...。虫がいいにも程がある。ひとに子を預けておいて一時間も二時間もとは...。あっちこっち探してみる、女はいない。大声で呼んでみたが返事もない。「クソ、やめた!」その子を地面へ置き、後も見ずに帰っていった。夜半すぎて帰った主人をみると肩からビッショリ、話を聞いて家内がたまげた。「ま、あんたのような、人の子を捨ててどねえするかの」と。ご主人ともども提灯つけて戻ってみれば、女もいない子もあらん。そこには夜露に濡れた川原石が一つ、ポツンと道に転がっていた...と。いつ頃のコトかわからん。親が子に、子が孫に話して来たらしい。「晩に左右々々(そうそう)しおると“子を抱かしょう”が来るでよ」と、夜遊びを諫(いさ)める方便のようだ。いま“子を抱かしょう”を話す人、木田にはいない。

「晩に左右々々しおると...」の左右々々は、晩にほっつき歩いたら 夜、家に帰らんと遊び回ると、と云う意味。
場所は、木田橋と現2号線の間の厚東川沿いの右岸(下流に向かって右側)の道のいずれか。

5 会員の声

ビオトープに参加して

伊原 邦治記

私は6歳の頃、自宅近くの杉林の山裾で、10歳年上の姉と従妹の3人で箱庭造りをしたことがある。朝9時から18時頃まで無我夢中で杉林の中で泥んこになりながら棚田をつくり山水を引いて小川を作り、草木を移植して蟹やどんこを入れて、楽しく遊んだ思い出がある。今にして思えば超ミニミニビオトープのようなものであったように思う。昨年10年ぶり山口県に帰ってきた時、二俣瀬にビオトープの会があることを知り、原田さんをお願いして、入会させてもらった。二俣瀬のビオトープを見ていると、少年の日が懐かしく思い出される。そこで、もち米や蕎麦を育て収穫する。梅もどき等の植栽、草刈にマムシ様にも面会...餅つきや、猪肉の焼肉パーティにも参加した。最近ではなかなか経験できないことばかりである。夏の草刈や樹木の運搬など、大変な作業もあるが、ますますビオトープが充実していくのは楽しい事です。これからも、色々な行事に参加したいと思っていますので、宜しくお願いします。

6 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

10月20日 蛇はいませんでした。日ごろTVや色々なことをしているので、外にでてみました。 小野田 井上

10月23日 前回ここに来たのは、8月の1週だったので気持ちもなえてしまうくらい暑かったのをおぼえています

10月も4週目に入ると長袖でも少し肌寒く感じます。 ビオトープは相変わらずきちんと手入れがされており
管理者の方々の努力が目につかびます。 次回の書き込みは調査のある2月だと思います。 はばら

10月26日 2ヶ月ぶりにビオトープに来ました。いつもは作業できていますが誰もいないビオトープは久しぶりです。

しずかに鳥のさえずり、川の音だけは聞こえます。なんだか心がリフレッシュした気がします。 ササオ

10月27日 このあいだ稲刈りをして、その稲を干していたのにビニール袋をかけに来ました。風が余りにも強かったので
ビニールをかけた稲がぜんぶ倒れてしまいました。そして6時間もかかりました。 二俣瀬小 6年 藤永

10月27日 楽しかった 厚東小 6年 無記名

11月 4日 とても風が強くて寒いけど子供はおおはしゃぎで楽しんでいます。また暖かくなったら来たいと思います。無記名

11月17日 何もないから遊び道具をつくって!それとはしがこわれそうだった。 1年吉富丈子

11月24日 (日)14:00~15:00 今日は久しぶりに来ました。最近公私とも忙しく気の抜く間も無く時間との競争みたいにして生きてます。今日は天気も良くビオトープのトンボを見にこの前いつ来たのか忘れた感じで来たら
冬ま近になってきて一生懸命頑張っている小さな赤とんぼが私を迎えてくれました。とても嬉しかったです。

やはり、自然っていいです。人間も自然に生きられたらいいのと思います。今日は誰もいません。鳥の声と、風の音と、川の流に反射する陽の光がキラキラして心が和みます。疲れたとき、寂しいとき、悲しいとき...
自然の中で自分を映してみたら、きっとビオトープのよさが分かるはずですよ。 T.H

事務局より遊園地や公園ではありませんので遊び道具はありません。とんぼや、めだかを捕ったり草原でクローバなどつんで遊んでください。また橋の傷んだところを探しましたが見つかりませんでした。 事務局より

7 会よりの連絡事項

連絡網の件で御願います。メールの方は毎日開いて確認ください。電話網の方は本人に必ずお伝えくださった跡で下流の連絡網の確認を願います。

8 編集後記

先週の日曜日、ピオトープに行ってきました。定例の作業と関係のない日にピオトープを訪れるのは、久しぶりです。その日は快晴、まわりの山の紅葉を背景とした、美しいピオトープを見ることができました。今まで私が見てきた中での最高だと思います。背後の山が針葉樹あるいは荒山ならば、この様にはならないでしょう。里山を守る大切さを痛感しました。さて月に1回ぐらいしか定例作業に参加できない私でも、作業の中で自然の移り変わりを実感し、さらに様々なことを学ぶことができます。土曜日の午前中にどうしても作業に参加できない会員のかたがたも、時間の空いているときに、足を運んでください。新しい発見があるかもしれません。そして実感されたことを短くても構いませんから、会報に投稿してください。そうすれば会報もより賑やかになります。たいそうなことを書きましたが、この私も師走に入ると忙しく、7日の餅つきに参加できそうにありません。皆さんは、如何でしょうか。

(前田 歳朗 記)